

■ 大田区地域ケア会議 体系図 ■

PDCAサイクル
の実施
フィードバック
の視点

大田区地域包括支援センター

総合相談

包括的・継続的ケアマネジメント

介護予防ケアマネジメント

●個別レベル●

- ・重複課題等の支援困難ケース
- ・介護援専専門員の資質向上を目指して取り上げるケース（介護支援専門員からの持ち込み、生活援助が多いプラン等）
- ・自立支援計画作成ケース（類似ケースをグループ化）

地域包括支援センター

- ・地域包括支援センター
- ・介護事業所、民生委員、本人に関する地域住民（自治会・町会の関係者、シニアクラブ等も含む）、老人いこいの家職員、地域の商店・事業所、医師、薬剤師、理学療法士等
- ※介護事業所が参加する場合、それ以外の少なくとも1主体を参加者とする

- 事前調整● 地福と包括で連携・協働
- ・関係者で課題出しやメンバー構成等を検討
- ・各地縁団体へ地域ケア会議について周知

●日常生活圏域（18圏域）レベル●

- ・個別ケースの課題解決等により蓄積した地域課題の把握、整理、分析、情報共有
- ・地域の多職種の関係機関と連携し、地域に必要なまたは不足している社会資源の開発やネットワークの構築課題解決や社会資源開発、ネットワーク構築に向けた多様な視点からの話し合い

地域包括支援センター

- ・地域包括支援センター
- ・地域福祉課
- ・特別出張所
- ・課題解決のための必要な社会資源（例）民生委員、自治会・町会、介護事業所、地域の商店・事業所・企業、医師、薬剤師、理学療法士等

●基本圏域（4圏域）レベル●

- ・各日常生活圏域レベルで話し合われたテーマ、課題を集約および整理し、区レベル会議に向けて調整

地域福祉課

- ・地域福祉課
- ・高齢福祉課
- ・地域包括支援センター

庁内検討委員会

★区レベル★

- ・圏域レベル会議で選定されたテーマのうち、事前の「庁内検討会」で調整された「検討テーマ」及び「解決案」についての議論（複数可）

高齢福祉課

- ・大田区高齢者福祉計画推進会議委員（学識経験者、弁護士、医師会、歯科医師会、薬剤師会、福祉関係職員、地域関係者、公募委員）

《個別課題が政策形成につながったケース》

個別課題



独居の認知症の方が、ごみを出せなくなってしまっているけど、戸別収集の対象者でもないのどうしたらいいだろう…



ひとり暮らしになってしまって不安… 外出先に体調が悪くなったらどうしよう…

地域課題

増加しているひとり暮らし高齢者の生活を支える体制作りが必要

資源開発

圏域レベル会議

地域課題に関係する人たちで既存の地域資源の共有や、社会資源開発について

政策形成



見守りキーホルダー

家庭廃棄物戸別収集拡充



高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らせるまち